

大阪工業大学工学部 学生員 ○井前 成人
大阪工業大学工学部 正会員 岩崎 義一

1. はじめに

1－1. 研究の目的と背景

全国の一入あたり公園面積ワースト3が大阪府、東京都、神奈川県であるように¹⁾、大阪市内における公園整備はその過密性から容易に進められるものではない。このため空間の有効利用の一環で高架下公園整備がいくつかみられる。一般の公園に関する研究としては、緑被の程度や、利用者のイメージ、利用形態などの特性について取り組まれているが、高架下の土地利用に関する研究が見られる²⁾のに対して公園に関する研究は見られない。

よって、本研究では高密度化した都市における高架下公園利用に係わる計画技術の向上に役立てることを目的に、高架下公園の利用者の公園に対する意識構造を明らかにする。なお、研究方法としては公園利用者に対してアンケート調査を実施した。(実施期間1999年11月20日～30日)

1－2. 高架下公園の分布状況

大阪市内には高速道路、鉄道、一般国道などの高架下に公園が12カ所配置されている(図1)。そして、これら12カ所の高架下公園について周辺地域の特徴は(表1)のようになっている。これらの公園は、高速道路5カ所、一般国道5カ所、鉄道2カ所となっている。また、用途地域別に分けてみると大半が商業地域、準工業地域となっている。そして、公園の周辺を見てみると民家に囲まれているところが特に多く、小学校や幼稚園などの施設も近くに多く存在する。本研究ではこれら高架下公園の中で大宮北公園と加島小公園2カ所を対象として取り上げることにした。

2. 公園利用者の意識構造

(1) 公園の利用状況

利用者の属性は、年齢別にみると大宮北公園では小学生低学年の子供も多く利用しているのに対して、加島小公園では小学生低学年に利用者はなく30代～60歳以上の高齢層まで平均的に利用されていることがわかる。

表1 高架下の周辺状況

公園名	用途地域	高架の種類	周辺の主要施設	隣接地の状況
① 伝法中	準工業	国道	北:河川 東:小学校、幼稚園、駅	南~北:民家
② 伝法南	第1種住居	国道	南:河川 東:寺	北~南東:民家 西:マンション、市営住宅
③ 西夏島西	商業	国道	北:河川 東:小学校 南:消防署、区役所	東~西:民家
④ 堀ヶ崎	第1種住居	国道	南:高等学校 北:東:河川	東~北:民家
⑤ 南河堀	商業	鉄道	東:高等学校 西:駅	南:緑地 西:駐車場、民家
⑥ 堀初堀	商業	高速道路	東:寺	北~南:民家 北東~南西:オフィスビル
⑦ 大宮北	準工業	高速道路	北:大学、河川	北東~南:市営住宅 南西:民家
⑧ 加島小	準工業	高速道路	東:小学校	北東~東:民家 西:民家
⑨ 加島浜	準工業	高速道路	南東:小学校	東~南東:民家 西:民家
⑩ 西中島小	商業	鉄道	東:駅	北東~南東 南西~北:オフィスビル
⑪ 放出小	準工業	鉄道	なし	南西~北 北西~南東:市営住宅、民家 南:自転車駐輪場
⑫ 高津花冠	商業	高速道路	東:寺	北~南:店舗、民家 南西~北:オフィスビル、民家

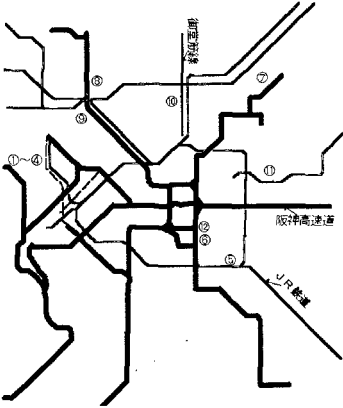


図1 高架下公園の分布

また、利用頻度から見ると大宮北公園では「ほぼ毎日利用する」という意見が特に多く、その目的は「散歩」、
「遊び」で利用する人が多かった。一方、加島小公園では「ほとんど利用しない」という意見の割合が特に高く
「運動」、「休憩」の目的で利用されている人が多いという対照的な結果が見られた（図2）。

(2) 公園利用者の要望

公園利用者の要望についてみると、大宮北公園、加島小公園ともに樹木、街灯、ベンチを増やしてほしいというような意見が共通して多く、高架下公園では全体的に設備の増強が望まれていることがわかった。

(3) 公園利用者から見た問題点

高架下公園について特に割合が高かった問題点を大宮北公園、加島小公園について比較してみた（表2）。この結果より、両公園ともに「鳥の糞が多くて汚い」、「ゴミなどの管理不足」というような衛生面における問題点が非常に多かった。また、加島小公園においては「圧迫感がある」、「日光が入りにくくて暗い」といった問題点が大宮北公園よりも多かった。これについては大宮北公園よりも橋桁が低いことが原因であると考えられる。そして、大宮北公園では「交通量が多くて危険である」、加島小公園では「人けがなくて怖い」という意見が一方の公園に対して比較的多かった。こうした傾向の違いは、高さ3メートル程度のフェンスが加島小公園では設置されているのに対し、大宮北公園では設置されていないことに起因していると考えられる。

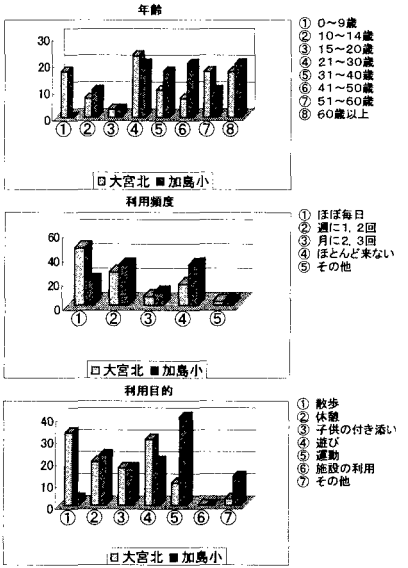


図2 アンケート調査結果 (単位: %)

3. まとめ

アンケート結果より高架下公園に関するこれからの維持管理の向上に対する方法をまとめてみた。

①アンケートの結果より、鳥の糞やゴミの未処理など衛生面に対する要望が特に多かった。これについては、日頃から清掃など衛生管理に努める工夫が必要である。

②構造上、高架の高さを大きくとり開放的な空間を作るなどの技術や工夫が必要である。

③特に要望が多かった公園設備は街灯、ベンチなどあり、一般的な公園と同じような設備の充実が必要である。

そして、これからの課題としては①については行政だけに頼るのではなく地元住民も含め組織的に取り組んでいくこと、②・③については行政による実態調査の実施や、これを踏まえた改善の取り組みが必要である。

表2 高架下の問題点 (複数回答)

高架下公園の問題点	大宮北公園	加島小公園
人けがなくて怖い	7%	3%
騒音が大きくてうるさい	70%	27%
交通量が多くて危険	47%	23%
鳥の糞が多くて汚い	47%	43%
日光が入りにくくて暗い	40%	63%
圧迫感がある	10%	43%

参考文献

1) 都市公園一覧表 大阪市公園局 (1999年度)
2) 木下雅史・中村政・木下勇・椎野亜紀夫: (1999)・高架下空間の土地利用形態に関する研究ー東京23区の高架鉄道の下部空間を対象としてー、日本都市計画学会学術論文集、[31]、pp13-18